



12/1 人権の大切さについて学んだ一日 ～人権フェスティバル～



人権フェスティバルを文化センターで開催しました。オープニングを務めたのは荒尾めぐみ幼稚園の子どもたち。大きなバルーンを使った演技で開会行事に花を添えました。第一部の子どもたちからのメッセージでは、一小、桜山小、荒尾支援学校の児童・生徒が人権について学習した成果を発表したり、周囲の人や郷土への思いなどを発表したりしました。

第2部の人権講演会では、講師の福永宅司さんが「君をいじめから守る」と題し、いじめ問題に揺れながらも生徒たち自身の力で乗り越えた学校の実話を一人芝居で表現。迫真の演技に多くの来場者が引き込まれました。フィナーレでは、手話ダンス「ひびき」、桜ゆりかご会、NPO 法人花梨の家「わがんせ」の各出演者たちが手話ダンスや歌を披露し会場を沸かせました。会場内各所では、市内の小・中・高校・支援学校・福祉施設などからの作品も展示され、足を止めて作品を鑑賞する人の姿もありました。

1_荒尾めぐみ幼稚園の発表 2_一人芝居をする福永宅司さん 3_横断幕に人権についてのメッセージを寄せる中学生 4_作品展示 5_一小児童の発表 6_フィナーレ

11/17 思いやりの心 花の種に込めて飛ばす ～「人権の花」運動風船飛ばしセレモニー～



無数の風船は空へと消え、思いが込められた花の種を載せて

清里小で「人権の花」運動風船飛ばしセレモニーが行われました。人権啓発活動の一環として行われているもので、児童たちが協力し合って花を育てることで、「思いやり」や「感謝」の気持ちを学ぶことが目的です。児童らは、昨年5月12日に行われた「人権の花」伝達式で花の種を受け取り、これまで大切に育ててきました。青空の下、思いやりをいっぱい詰めた花の種と、メッセージを風船に付け、たくさんの人に届くことを願って飛ばしました。

11/23 夕日と音楽に包まれるひととき ～干潟サンセットカフェ&コンサート～



地平線に沈む夕日を眺めながら、音楽は心を和ませてくれます

2回目となる荒尾干潟サンセットカフェ&コンサートを蔵満海岸で行い、約500人が来場しました。来場者はビーンズクラブ、オカリナ花音デュオ、サイトウケンバンドの素晴らしい演奏を堪能しながら、荒尾干潟の地平線に徐々に沈んでいく夕日の美しさに酔いしれていました。市内の飲食店のマキカフェやラヴィアンシェリーの出張販売では、軽食のほか、寒い中の開催ということもあり温かい飲み物やスープが参加者に好評でした。

12/8 万田坑に新たなにぎわいを ～万田坑の自由な活用プロジェクト～

企画提案後、実践に向けてさまざまな意見を交換した大学生たち



福岡大学と熊本大学の学生など約30人による合同ワークショップを市役所で開催し、万田坑の新たな活用案を検討しました。

グループごとに企画案を発表した後、参加者同士がグループを移動しながら意見交換を行いました。洗面器投げ大会、運動会、荒尾干潟と連動したTシャツ美術館、夜に行う謎解きや炭鉱酒場など、ユニークな企画が提案され、参加した学生からは、「提案だけでなく、実現してみたい」との声も多く聞かれました。

12/9 ラジオ体操の魅力のプロが直接指導 ～ラジオ体操講習会～

寒い中でも、終始笑い声と笑顔が絶えない講習会となりました



市民体育館でラジオ体操講習会を開催しました。スポーツ推進委員や健康づくり推進員をはじめ市内外から270人の参加がありました。NHK テレビ・ラジオ体操でお馴染みの岡本美佳先生、五日市祐子先生が講師となり、みんなの体操、ラジオ体操第1・第2の実技指導がありました。参加者は「小さな動作を意識することで、かなりの運動量になることが実感できた。また講習会に参加したいです」と笑顔を見せ、ラジオ体操の魅力を実感していました。

11/23 小岱山の秋の魅力を満喫 ～紅葉狩りウォーク～

この紅葉は府本地域安全パトロール隊などが大切に世話をしています



府本地区協議会は紅葉狩りウォークを開催しました。天高く澄んだ秋空の中、ウォーキングを楽しもうと市内外から150人を超える参加がありました。参加者は約5kmのコースをゆったりと歩きながら、赤く色づいた小岱山の木々が織り成す景色を楽しんだり、参加者同士の交流を深めていました。

ゴール後には、同会が準備したおにぎりや豚汁に舌鼓を打ち、心もお腹も満たされた参加者からはたくさんの笑顔が溢れていました。

11/27 避難行動を身に付ける大切な訓練 ～有明地区地震津波避難訓練～

児童らはノートで頭を守りながら、速やかに体育館に避難していました



地震と津波からの避難行動を確認するための訓練を有明地区で実施しました。有明小での訓練として、地震発生の知らせの後に机に身を隠し、揺れが収まった後に体育館に避難する地震避難訓練を実施しました。続けて、津波警報発表を想定したサイレンが鳴ると、より高い場所への避難を目指し、児童らは校舎2階に速やかに逃げました。津波警報発表を想定した訓練には有明地区の住民も参加し、小学校までの避難経路を確認しながら避難していました。